

「40分授業」の導入と「個を磨く時間」の創出【観点Ⅱ、Ⅲ】 臼杵市立福良ヶ丘小学校（児童数92人 学級数8）大分教育事務所

現状・課題

- ・若手教職員が増える中、授業準備や教材研究の時間を確保し、教職の質の向上と生活の充実（ワークライフバランス）を両立させる必要があった。
- ・教師主導の「教え込み」から脱却し、子どもが自ら学び方を工夫し、対話を通じて深める「自立した学習者」を育てるための授業改善が求められていた。

40分授業の導入による年間 5,075 分の時間創出

1015単位時間 × 5分の短縮

生み出した時間を「個を磨く時間」へ

【児童】自立した学習者へ

- ・創輪タイム（対話）
- ・丘っこ自学タイムの活用

【教師】専門性の向上

- ・教材研究、専門講座の受講
- ・3部会による短期PDCA
- ・研修時間の確保

【組織】働き方改革の推進

- ・業務のゼロベース見直し
- ・ワークライフバランスの充実
- ・やりがいと達成感の実感

取組内容

『丘っこ自学タイム』

個に応じた指導

指導の個別化 + 学習の個性化

月・火・木・金の週4回、午後の20分間で実施。個別最適な学びを実現するための時間と位置づけ、基礎基本の定着の時間、探究学習の時間、それぞれ2回設定。育成を目指す資質・能力を培う。



【カエルのエサ】【成体の時のエサ】
・コオロギ ・ミルワーム …

児童それぞれが探究したい事柄を決め、自分で資料を集め、自分なりのまとめを、タブレットを用いて表現する。

1校時開始時刻(8:15) (午前中5校時授業)

1校時 (40分)

2校時 (40分)

3校時 (40分)

中休み (15分)

4校時 (40分)

5校時 (40分)

給食 (45分)

昼休み・掃除 (45分)

丘っこ自学タイム (20分)

6校時 (40分)

5校時下校時刻(14:15)

6校時下校時刻(15:00)

働き方改革における重点目標

創造とやりがいと達成感を実感し、教職としての資質能力の向上と負担軽減の体制を築く。

【重点目標達成のための本校の組織マネジメント】



校内専門講座 年間計画

	期日	講師	種別	内容(仮)
第1回	4月25日(金) 14:40～	A	特別支援研修	特別支援教育の充実に向けて 一貫した学習・成長の機会と自立活動 での学びの在り方等
第2回	5月30日(金) 14:40～	B	教科研修	STEAM教育について フューチャリーな視点で授業、学習が変わる
第6回	12月19日(金) 14:40～	I	学級経営研修	縦割り組 科横断カリキュラム を構築して
第7回	1月30日(金) 14:40～	J	教科研修 その他研修	色で見たこと のあ

【講座内容】対話を通して、互いに深め合う算数授業の創り方

成果

- 全国学力・学習状況調査において、全教科平均正答率を上回っている。
- 全国学力調査の質問紙において「自分で学び方を工夫する」意識が全国・県平均の2倍以上
- 教職員アンケートによる働き方改革に関する全項目「業務の効率化」「資質能力の向上」「創造的な取組」「負担軽減」の肯定的回答率が100%

周囲の声より

- 同僚と授業について話し合う文化ができた。
- 自分たちの実践が子どもの変化に繋がっている実感が持てる。
- 子どもたちが学んだことを自分の言葉で堂々と伝えられている。

導入を検討する学校へ

- ・働き方改革と授業改善は「両輪」です。
- ・授業時間を短縮して生まれた「余白」を、教職員が対話・研修する時間に充てることで、結果として授業の質が高まり、子どもたちの主体性が引き出されるという好循環が生まれます。